

表 1 半導体歯ブラシおよびプラセボ歯ブラシの寸法・仕様

(mm)

ヘッド			植毛部		植 穴		フィラメント			全 長
長さ	幅	厚さ	長さ	幅	配列	穴数	長さ	太さ	植毛数	
24	9	5	23	6.8	3×8	24	9.5	0.2	24±1	166

表 2 歯磨剤の組成 (%)

Precipitated Calcium Carbonate	35.0
Glycerin	36.0
CMC-Na	1.6
Flavar	0.7
Distilled water	36.7

表 3 各歯ブラシ群の PMA-I の経過変化

PMA-I		Before	1W	2W	3W
半導体歯ブラシ群	M	4.48	2.93	3.16	1.58
	S.D	2.75	2.00	2.15	1.40
	範囲	0~10	0~7	0~7	0~3
対照歯ブラシ群	M	3.39	2.79	2.39	3.44
	S.D	2.79	2.14	1.50	1.38
	範囲	0~13	0~7	0~6	0~6

** p<0.01

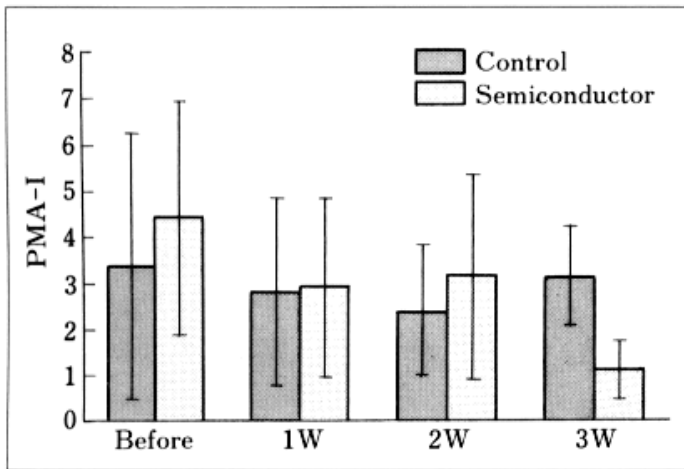


図 4 PMA-I の経過変化

半導体歯ブラシによる臨床評価

1. 材料および方法

今回用いた半導体歯ブラシは表 1 に示す寸法, 仕様で頸部に直径 3 mm, 長さ 33mm の棒状 TiO₂ を有するものである。また、対照

表 4 各歯ブラシ群の CPITN の経過変化

CPITN		Before	1W	2W	3W
半導体歯ブラシ群	M	0.50	0.57	0.45	0.36
	S.D	0.72	0.83	0.74	0.87
	範囲	0~2	0~4	0~2	0~2
対照歯ブラシ群	M	0.67	0.70	0.44	0.73
	S.D	0.74	0.87	0.64	0.82
	範囲	0~2	0~2	0~2	0~3

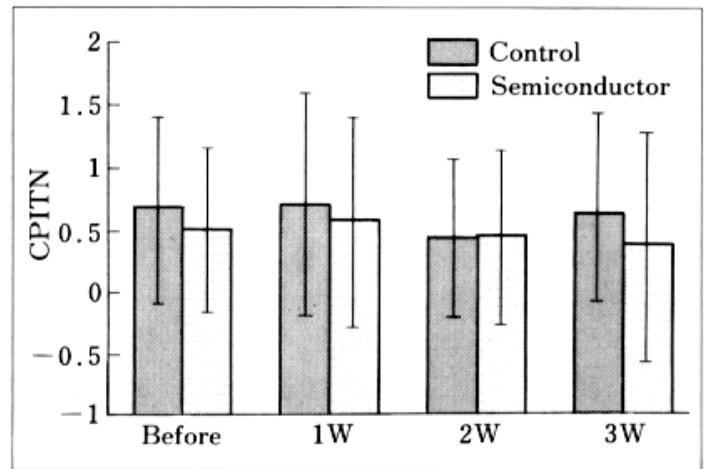


図 5 CPITN の経過変化

は全く同様のものである。このようにして被験者, および検査者にブラシ間の相違についての意識が起きないようにした。

被験者は臨床的に歯科疾患を有しない正常歯列の歯科衛生士学校生徒 60 人で, 年齢 20 ± 1.5 歳である。

また、
としてのプラセボ歯ブラシは、半導体 TiO_2
の代わりに合成樹脂棒を用いたもので、見か

半導体歯ブラシ使用群32人、対照歯ブラシ
使用群28人に分け、ブラッシング法はスクラ